

うるま市の給与・定員管理等について

1 総括

(1) 人件費の状況（普通会計決算）

区分	住民基本台帳人口 (H29年1月1日)	歳出額 A	実質収支	人件費 B	人件費率 B/A	(参考) 27年度の人件費率
28年度	人 122,692	千円 55,211,733	千円 2,248,289	千円 6,630,005	% 12.0	% 11.6

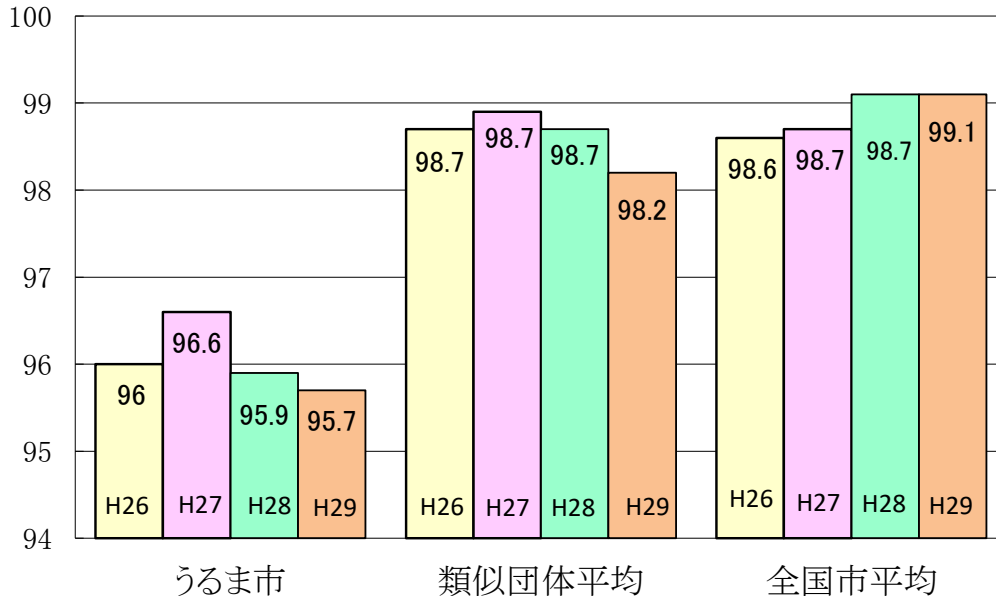
(2) 職員給与費の状況（普通会計決算）

区分	職員数 A	給与費				(参考) 一人当たり 給与費 B/A	(参考) 類似団体平均 一人当たり給与費
		給料	職員手当	期末・勤勉手当	計 B		
28年度	人 748	千円 2,669,207	千円 258,025	千円 1,005,969	千円 3,933,201	千円 5,258	千円 6,140

- (注) 1 職員手当には退職手当を含まない。
 2 職員数は、地方公務員給与実態調査における平成28年4月1日現在の人数である。(再任用フルタイム含む)
 3 給与費については、任期付短時間勤務職員(再任用職員(短時間勤務))の給与費が含まれており、職員数には当該職員を含んでいない。

(3) ラスパイレス指数の状況（各年4月1日現在）

(例)



- (注) 1 ラスパイレス指数とは、全地方公共団体の一般行政職の給料月額を同一の基準で比較するため、国の職員数(構成)を用いて、学歴や経験年数の差による影響を補正し、国の行政職俸給表(一)適用職員の俸給月額を100として計算した指数。
 2 類似団体平均とは、人口規模、産業構造が類似している団体のラスパイレス指数を単純平均したものである。

(4) 給与改定の状況

(5) 給与制度の総合的見直しの実施状況について

① 給料表の見直し [実施]

(給料表の改定実施時期) 平成27年4月1日
 (内容) 一般行政職の給料表について、国の見直し内容を踏まえ、平均2%引下げ。若年層については、1級及び2級の初任給に係る号給は引下げなし。高齢層については最大4%程度の引下げ。激変緩和のため、3年間(平成30年3月31日まで)の経過措置(現給保障)を実施。

② 地域手当の見直し 手当支給無(平成30年度より支給あり)

③ その他の見直し内容

2 職員の平均給与月額、初任給等の状況

(1) 職員の平均年齢、平均給料月額及び平均給与月額の状況（平成29年4月1日現在）

①一般行政職

区 分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額	平均給与月額 (国ベース)
うるま市	42.2 歳	303,300 円	349,900 円	328,848 円
沖縄県	40.8 歳	308,524 円	365,815 円	337,701 円
国	43.6 歳	330,531 円	— 円	410,719 円
類似団体	42.1 歳	316,075 円	383,854 円	350,420 円

②技能労務職

区 分	公 務 員					民 間			参 考 A/B
	平均年齢	職員数	平均給料月額	平均給与月額 (A)	平均給与月額 (国ベース)	対応する 民間の 類似職種	平均年齢	平均給与月額 (B)	
うるま市	52.0 歳	12 人	340,000円	365,600円	361,625円	—	—	—	—
うち学校給食員	49.8 歳	8 人	335,900円	388,600円	360,988円	調理師	45.0 歳	196千円	1,985.69
沖縄県	53.7 歳	245 人	394,798円	—	376,371円	—	—	—	—
国	50.6 歳	2,722 人	286,833円	—	328,360円	—	—	—	—
類似団体	51.3 歳	46 人	326,103円	358,931円	348,909円	—	—	—	—

区 分	参 考		
	年収ベース（試算値）の比較		
	公務員 (C)	民間 (D)	C/D
うるま市		—	—
うち学校給食員	6,221千円	2,559千円	

※ 民間データは、賃金構造基本統計調査において公表されているデータを使用している。（平成25～27年の3ヶ年平均）

※ 技能労務職の職種と民間の職種等の比較にあたり、年齢、業務内容、雇用形態等の点において完全に一致しているものではない。

※ 年収ベースの「公務員（C）」及び「民間（D）」のデータは、それぞれ平均給与月額を1.2倍したものに、公務員においては前年度に支給された期末・勤勉手当、民間においては前年に支給された年間賞与の額を加えた試算値である。

※ 「—」は該当職員なし、「***」は該当職員が少数のため非表示とした。

③教育職(幼稚園)

区 分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額
うるま市	38.6 歳	299,626 円	321,650 円
沖縄県	43.3 歳	360,500 円	405,914 円
類似団体	40.2 歳	302,032 円	337,257 円

(注) 1 「平均給料月額」とは、平成28年4月1日現在における各職種ごとの職員の基本給の平均である。

2 「平均給与月額」とは、給料月額と毎月支払われる扶養手当、地域手当、住居手当、時間外勤務手当などのすべての諸手当の額を合計したものであり、地方公務員実態調査において明らかにされているものである。

また、「平均給与月額(国比較ベース)」は、比較のため、国家公務員と同じベース(=時間外勤務手当等を除いたもの)で算出している。

(2) 職員の初任給の状況（平成29年4月1日現在）

区 分		う る ま 市	沖 縄 県	国
一般行政職	大 学 卒	178,200 円	178,200 円	178,200 円
	高 校 卒	146,100 円	146,100 円	146,100 円
技能労務職	高 校 卒	143,500 円	143,500 円	— 円
	中 学 卒	135,500 円	135,500 円	— 円
教育職	大 学 卒	178,200 円	199,500 円	— 円
	高 校 卒	146,100 円	155,200 円	— 円

(3) 職員の経験年数別・学歴別平均給料月額状況（29年4月1日現在）

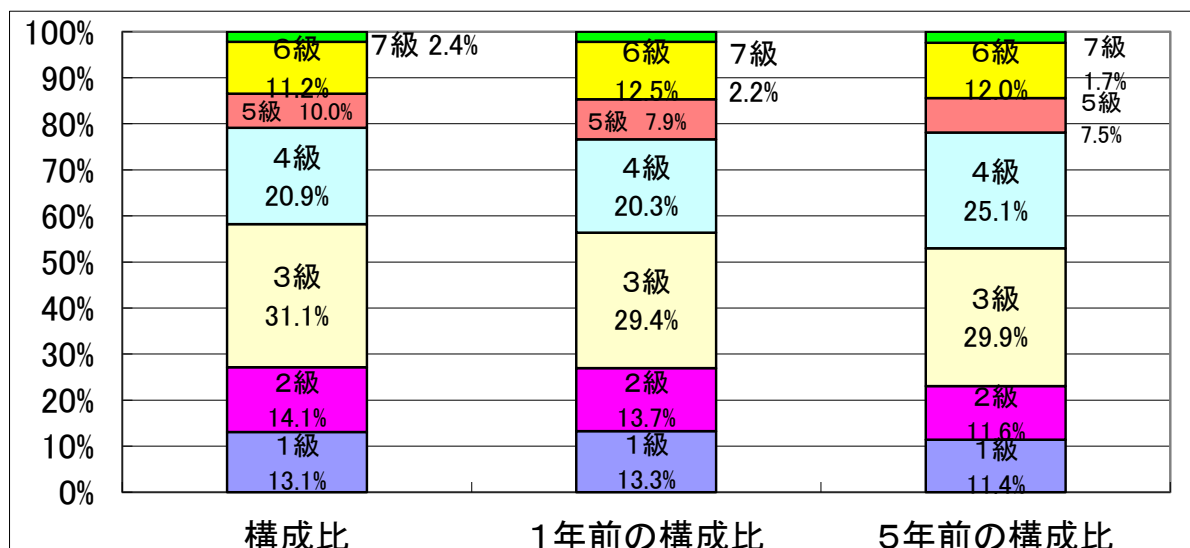
区 分		経験年数10年	経験年数20年	経験年数25年	経験年数30年
一般行政職	大 学 卒	250,500 円	329,993 円	366,938 円	381,325 円
	高 校 卒	206,300 円	277,940 円	351,220 円	367,775 円
技能労務職	高 校 卒	— 円	— 円	*** 円	*** 円
	中 学 卒	— 円	— 円	— 円	— 円
教育職	大 学 卒	*** 円	362,967 円	*** 円	*** 円
	高 校 卒	*** 円	*** 円	*** 円	*** 円

3 一般行政職の級別職員数等の状況

(1) 一般行政職の級別職員数及び給料表の状況（平成29年4月1日現在）

区 分	標 準 的 な 職 務 内 容	職 員 数	構 成 比	1号給の給料月額	最高号給の給料月額
1 級	主事・技師	65 人	13.1%	142,600 円	247,100 円
2 級	主事・技師	70 人	14.1%	192,700 円	303,800 円
3 級	係長・主査・技査・主任主事・主任技師	155 人	31.1%	228,900 円	349,600 円
4 級	係長・主査・技査	104 人	20.9%	262,000 円	380,600 円
5 級	課長・主幹・技幹・副主幹・副技幹	37 人	7.4%	288,000 円	392,600 円
6 級	課長・主幹・技幹	56 人	11.2%	318,500 円	409,800 円
7 級	部長・参事	11 人	2.2%	362,300 円	444,500 円
計		498 人	100%		

(注) 1 うるま市の給与条例に基づく給料表の級区分による職員数である。
 2 標準的な職務内容とは、それぞれの級に該当する代表的な職務である。



(2) 昇給への勤務成績の反映状況

平成29年4月2日から平成30年4月1日までにおける運用		管理職員		一般職員	
イ	人事評価を活用している				
	活用している昇給区分	昇給可能な区分	昇給実績がある区分	昇給可能な区分	昇給実績がある区分
	上位、標準、下位の区分				
	上位、標準の区分				
	標準、下位の区分				
	標準の区分のみ(一律)				
ロ	人事評価を実施していない	○		○	
	活用予定時期	未定		未定	

4 職員の手当の状況

(1) 期末手当・勤勉手当

うるま市	沖縄県	国
1人当たり平均支給額(28年度) 1,336千円	1人当たり平均支給額(28年度) 1,534千円	—
(28年度支給割合) 期末手当 2.60月分 勤勉手当 1.70月分 (1.45)月分 (0.80)月分	(28年度支給割合) 期末手当 2.60月分 勤勉手当 1.70月分 (1.45)月分 (0.80)月分	(28年度支給割合) 期末手当 2.60月分 勤勉手当 1.70月分 (1.45)月分 (0.80)月分
(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算 5~15% ・管理職加算 支給なし	(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算 5~20% ・管理職加算 10%	(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算 5~20% ・管理職加算 10~25%

(注) ()内は、再任用職員に係る支給割合である。

【参考】勤勉手当への勤務実績の反映状況(一般行政職)

平成29年年度中における運用		管理職員		一般職員	
イ	人事評価を活用している				
	活用している成績率	昇給可能な区分	昇給実績がある区分	昇給可能な区分	昇給実績がある区分
	上位、標準、下位の成績率				
	上位、標準の成績率				
	標準、下位の成績率				
	標準の成績率のみ(一律)				
ロ	人事評価を活用していない	○		○	
	活用予定時期	未定		未定	

(2) 退職手当(平成29年4月1日現在)

うるま市			国		
(支給率)	自己都合	勸奨・定年	(支給率)	自己都合	勸奨・定年
勤続20年	20.445月分	25.55625月分	勤続20年	20.445月分	25.55625月分
勤続25年	29.145月分	34.5825月分	勤続25年	29.145月分	34.5825月分
勤続35年	41.325月分	49.590月分	勤続35年	41.325月分	49.590月分
最高限度額	49.590月分	49.590月分	最高限度額	49.590月分	49.590月分
その他の加算措置			その他の加算措置		
定年前早期退職特例措置 (2~20%加算)			定年前早期退職特例措置 (2~45%加算)		
(退職時特別昇給 無)					
1人当たり平均支給額 (全退職者) 21,176千円					

(注) 退職手当の1人当たり平均支給額は、28年度に退職した職員に支給された平均額である。

(3) 地域手当 制度なし(平成30年度より支給あり)

(4) 特殊勤務手当(平成29年4月1日現在)

支給実績(平成28年度決算)		12,912 千円		
支給職員1人当たり平均支給年額(平成28年度決算)		37 千円		
職員全体に占める手当支給職員の割合(平成28年度)		46.4 %		
手当の種類(手当数)		15種類		
手当の名称	主な支給対象職員	主な支給対象業務	支給実績 (平成28年度決算)	左記職員に対する支給単価
伝染病防疫手当	市民健康課、環境課等	伝染病の予防、防疫	— 千円	日額1,000円
用地交渉手当	用地課等	公共用地の取得、物件補償等	396 千円	月額3,000円
税務手当	資産税課、市民税課	市税の賦課	978 千円	月額3,000円
徴税手当	納税課、国民健康保険課	徴税を本務とする職員	1,970 千円	月額5,000円
保育士手当	保育士	保育現場勤務	943 千円	月額2,500円
社会福祉手当	保護課、障がい福祉課等	社会福祉業務	1,970 千円	月額5,000円
幼稚園教諭手当	幼稚園教諭	幼稚園勤務の教諭	1,242 千円	月額2,500円
行旅死亡人取扱手当	取扱いを命じられた職員	収容、埋火葬等	30 千円	日額3,000円
行旅病人及び精神障害者取扱手当	取扱いを命じられた職員	収容等	— 千円	日額1,500円
消防職員手当	消防署職員	消防職員	7,005 千円	月額5,000円
災害対策要員勤務手当	災害対策要員として勤務を命じられた職員	災害対策	2,601 千円	1時間1,000円
建築主事手当	建築主事の業務を行う職員	建築確認	360 千円	月額10,000円
ボイラー取扱手当	給食センターのボイラー管理	ボイラー管理	24 千円	月額2,000円
緊急消防援助隊手当	緊急消防援助隊として出動を命じられた職員	人命財産の保護	24 千円	日額3,000円
津堅島勤務手当	沖繩本島から津堅島に通勤し勤務を命じられた職員	幼稚園教諭職	120 千円	月額10,000円

(5) 時間外勤務手当

支給実績（平成28年度決算）	97,636 千円
職員1人当たり平均支給年額（平成28年度決算）	130 千円
支給実績（平成27年度決算）	90,617 千円
職員1人当たり平均支給年額（平成27年度決算）	122 千円

(6) その他の手当（平成29年4月1日現在）

手 当 名	内容及び支給単価	国の制度との異同	国の制度と異なる内容	支給実績 (平成28年度決算)	支給職員1人当たり 平均支給年額 (平成28年度決算)
扶養手当	配偶者 10,000円 子 1人につき8,000円 配偶者がいない場合1人目10,000円、16～22歳の子1人につき5,000円加算	同		100,616 千円	238,427 円
住居手当	借家（限度額）27,000円	同		84,312 千円	271,974 円
通勤手当	通勤距離が2km以上でバス・自動車等を利用する職員に支給 ・バス利用者 運賃額55,000円までは実費支給 ・自家用車等 距離に応じて2,000～31,600円支給	同		35,407 千円	47,654 円
管理職手当	部長等 55,000円 兼務参事等 45,000円 課長等 35,000円 兼務主幹等 30,000円	同		43,649 千円	445,398 円
宿日直手当	日直勤務の職員に支給 勤務1回5,000円	異	勤務1回4,200円	605 千円	8,403 円

5 特別職の報酬等の状況（平成29年4月1日現在）

区 分		給 料	月 額	等
給 料	市 長	890,000 円	(参考) 類似団体における最高/最低額	
	副 市 長		721,000 円	979,000 円 / 718,600 円
報 酬	議 長	463,000 円	666,000 円 /	399,000 円
	副 議 長	415,000 円	634,500 円 /	345,000 円
	議 員	390,000 円	594,000 円 /	321,000 円
期 末 手 当	市 長	(平成28年度支給割合)		
	副 市 長	3.25 月分		
退 職 手 当	議 長	(平成28年度支給割合)		
	副 議 長	3.30 月分		
備 考	市 長	(算定方式)	(1期の手当額)	(支給時期)
	副 市 長	給料月額×在職期間×500/100	17,800 千円	任期毎
		給料月額×在職期間×300/100	8,652 千円	〃

(注) 退職手当の「1期の手当額」は、当該年度4月1日現在の給料月額及び支給率に基づき、1期（4年＝48月）勤めた場合における退職手当の見込額である。

6 職員数の状況

(1) 部門別職員数の状況と主な増減理由

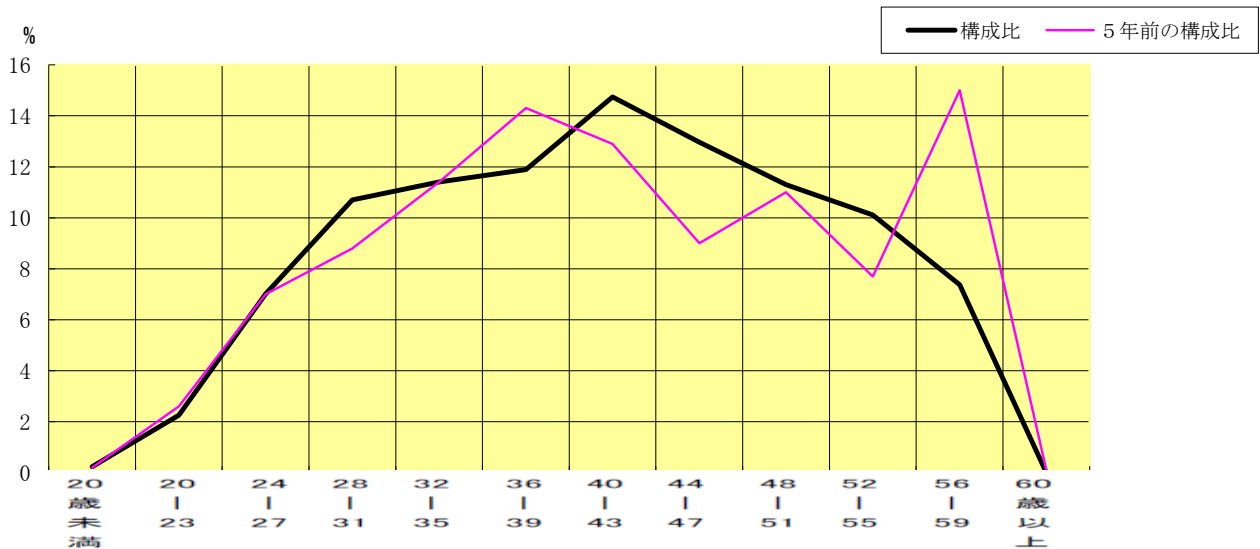
(各年4月1日現在)

分 部 門	区	職 員 数		対前年 増減数	主 な 増 減 理 由
		平成28年	平成29年		
普通会計部門	総務部	124	120	△4	機構改革、事務の統廃合による増減
	民生部	115	116	1	
	建設部	79	79	0	
	その他(税務等)	150	149	△1	<参考> 人口1万人当たり職員数 38.60人 (類似団体の人口1万人当たり職員数 52.26人)
	計	468	464	△4	
	教育部門	161	155	△6	
	消防部門	119	119	0	
小計	748	738	△10	<参考> 人口1万人当たり職員数 61.50 (類似団体の人口1万人当たり職員数 69.74人)	
公営企業部門	水道局	36	36	0	業務統合等による減 区分変更によるもの
	下水道課	18	17	△1	
	その他(国保等)	47	50	3	
	小計	101	103	2	
合計	[1,097]	[1,097]	[0]	<参考> 人口1万人当たり職員数 70.08人	

- (注) 1 職員数は一般職に属する職員数である。
 2 []内は、条例定数の合計である。
 3 公営企業等その他：国保特会、老人特会、介護特会

(2) 年齢別職員構成の状況(平成29年4月1日現在)

構 成 比



区 分	20歳 未満	20歳 ~ 23歳	24歳 ~ 27歳	28歳 ~ 31歳	32歳 ~ 35歳	36歳 ~ 39歳	40歳 ~ 43歳	44歳 ~ 47歳	48歳 ~ 51歳	52歳 ~ 55歳	56歳 ~ 59歳	60歳 以上	計
職員数	人 2	人 19	人 59	人 90	人 96	人 100	人 124	人 109	人 95	人 85	人 62	人 0	人 841

(3) 職員数の推移

(単位：人・%)

部門別 \ 年度	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	過去5年間の増減数(率)
一般行政	478	467	449	452	468	464	△ 14 (△ 3.0%)
教育	179	171	170	169	161	155	△ 24 (△ 15.5%)
消防	119	119	119	120	119	119	0 (0.0%)
普通会計計	776	757	738	741	748	738	△ 38 (△ 5.1%)
公営企業等会計計	112	108	103	106	101	103	△ 9 (△ 8.7%)
総合計	888	865	841	847	849	841	△ 47 (△ 5.6%)

(注) 各年における定員管理調査において報告した部門別職員数。

7 公営企業職員(水道事業)の状況

① 職員給与費の状況

ア 決算

区分	総費用 A	純損益又は 実質収支	職員給与費 B	総費用に占める 職員給与費比率 B/A	(参考) 27年度の総費用に占 める職員給与費比率
28年度	千円 3,544,488	千円 158,737	千円 159,920	% 4.51	% 4.48

(注) 資本勘定支弁職員に係る職員給与費33,875千円を含まない

区分	職員数 A	給与費				一人当たり給与費 B/A
		給料	職員手当	期末・勤勉手当	計 B	
28年度	人 36	千円 129,526	千円 15,197	千円 49,072	千円 193,795	千円 5,383

(参考) 市町村平均 一人当たり給与費
千円 6,166

(注) 1 職員手当には退職給与金を含まない。
2 職員数は、平成29年3月31日現在の人数である。

イ 特記事項

② 職員の基本給、平均月収額及び平均年齢の状況(平成29年4月1日現在)

区分	平均年齢	基本給	平均月収額
うるま市	43.8 歳	328,907 円	465,673 円
団体平均	44.4 歳	343,701 円	513,093 円

(注) 平均月収額には、期末・勤勉手当等を含む。

③ 職員の手当の状況

ア 期末手当・勤勉手当

うるま市水道事業	団体平均
1人当たり平均支給額（平成28年度） 1,364 千円	1人当たり平均支給額（平成28年度） 1,483 千円
(平成28年度支給割合) 期末手当 2.60 月分 () 月分 勤勉手当 1.70 月分 () 月分	(平成28年度支給割合) 期末手当 — 月分 () 月分 勤勉手当 — 月分 () 月分
(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算 5～15%	(加算措置の状況)

(注) () 内は、再任用職員に係る支給割合である。

イ 退職手当（平成29年4月1日現在）

うるま市水道事業			団体平均等		
(支給率)	自己都合	勸奨・定年	(支給率)	自己都合	勸奨・定年
勤続20年	20.445 月分	25.55625 月分	勤続20年	— 月分	— 月分
勤続25年	29.145 月分	34.5825 月分	勤続25年	— 月分	— 月分
勤続35年	41.325 月分	49.590 月分	勤続35年	— 月分	— 月分
最高限度額	49.590 月分	49.590 月分	最高限度額	— 月分	— 月分
その他の加算措置 (定年前早期退職特例措置 2～20%加算)			その他の加算措置 (退職時特別昇給)	—	—
1人当たり平均支給額	—	24,736千円	1人当たり平均支給額	10,252 千円	

(注) 退職手当の1人当たり平均支給額は、平成28年度に退職した職員に支給された平均額である。

ウ 地域手当 ～該当なし～

エ 特殊勤務手当（平成29年4月1日現在）

支給実績（平成28年度決算）		232 千円		
支給職員1人当たり平均支給年額（平成28年度決算）		21,091 円		
職員全体に占める手当支給職員の割合（平成28年度）		19.4 %		
手当の種類（手当数）		3種類		
手当の名称	主な支給対象職員	主な支給対象業務	支給実績 （平成27年度決算）	左記職員に対する支給単価
水道技術管理者手当	水道技術管理者	水道技術管理	60千円	月額5,000円
現金取扱員手当	現金取扱員	現金取扱業務	144千円	月額2,000円
災害対策要員勤務手当	災害対策要員として勤務を命じられた職員	災害対策	28千円	1時間1,000円

オ 時間外勤務手当

支給実績（平成28年度決算）	2,174 千円
職員1人当たり平均支給年額（平成28年度決算）	68 千円
支給実績（平成27年度決算）	2,773 千円
職員1人当たり平均支給年額（平成27年度決算）	87 千円

（注）1 時間外勤務手当には、休日勤務手当を含む。

2 職員1人あたり平均支給額を算出する際の職員数は、「支給実績(28年度決算)」と同じ年度の4月1日現在の総職員数(管理職員、教育職員等、制度上時間外勤務手当での支給対象とはならない職員を除く。)であり、短時間勤務職員を含む。

カ その他の手当（平成29年4月1日現在）

手当名	内容及び支給単価	一般行政職の制度との異同	一般行政職の制度と異なる内容	支給実績 （平成28年度決算）	支給職員1人当たり平均支給年額 （平成28年度決算）
扶養手当	配偶者 10,000円 その他 1人につき8,000円 配偶者がいない場合1人目10,000円、16～22歳の子1人につき5,000円加算	同		4,931 千円	234,784 円
住居手当	借家（限度額）27,000円	同		4,592 千円	267,147 円
通勤手当	通勤距離が2km以上でバス・自動車等を利用する職員に支給 ・バス利用者 運賃額55,000円までは実費支給 ・自家用車等 距離に応じて2,000～31,600円支給	同		1,399 千円	41,135 円
管理職手当	部長等 55,000円 兼務参事等 45,000円 課長等 35,000円 兼務主幹等 30,000円	同		1,920 千円	480,000 円